

I 公民館の充実発展に関する事業

【公民館研究集会・大会等の開催】

「全国公民館研究集会」および 7 地域区分(北海道、東北、関東・甲信越・静、東海・北陸、近畿、中国・四国、九州)ごとの「ブロック公民館大会」を各地で開催した。全国の公民館に勤務する職員等を中心に、7,733 名が参加し、地域社会の現代的課題への対応などのテーマで事例発表や討議および大学教授等の研究者の講演等を行い、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。

今年度の開催実績は以下の通り。

《今年の開催実績①(全国公民館研究集会)》

第 35 回全国公民館研究集会(北海道)／平成 25 年 10 月 17～18 日

《今年の開催実績②(ブロック公民館大会)》

地区	会期	主会場	参加者数
北海道	10/17～18	北海道 富良野市	858 人
東北	10/9～10	岩手県 盛岡市	580 人
関東・甲信越・静	8/29～30	新潟県 南魚沼市	1,046 人
東海・北陸	10/9～10	愛知県 半田市	1,210 人
近畿	11/14～15	奈良県 奈良市	690 人
中国・四国	9/5～6	香川県 高松市	1,169 人
九州	8/29～30	福岡県 福岡市	2,180 人
合計			7,733 人

※北海道ブロック大会は全国公民館研究集会同時開催。

【全国公民館セミナーの開催】

各都道府県を代表する公民館長を中心に 80 名が参加。公民館の機能充実に必要なことを研究協議した。今年度は以下に記載したプログラムで実施。各地域の公民館の活動にフィードバックすることで、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。

開催期日／平成 26 年 1 月 15～17 日

開催場所／国立オリンピック記念青少年総合センター

参加人数／80 名

《プログラム内容》

	内容
1 日目	【シンポジウム】 「これからの公民館の役割と課題」 清國祐二、坪田知広、関 福生、佐野万里子、工藤沙綾香、小林 純
2 日目	【ワークショップ】 「公民館の映画をつくろう」／栗山宗大
3 日目	【講座】 「講座づくりのヒント」／永田宏和 【総括】 「3 日間を振り返って」／清國祐二

【相談助言・情報発信・連携協力事業の実施】

①相談助言・情報発信

日々の公民館活動のなかで「社会教育法上の適否」や「トラブル回避の方法」「活動事例」「公民館の評価」などを情報発信するとともに個別の照会に対し、電話やインターネットによる相談に対し助言を行った。また、各地の公民館で実施する研修会の開催にあたって、テーマに対応した講師の派遣や、運営に役立つ情報提供などを適宜行い、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。

なお、今年度は下記（講演及びシンポジウム等派遣状況）のとおり講師を派遣した。

《講演及びシンポジウム等派遣状況》

日付	タイトル	主催
H25.5.10	元気が出る公民館のはなし	入間地区公民館連絡協議会
H25.6.24	これからの公民館のあり方を考える	沖縄県公民館連絡協議会
H25.6/25,26	東北地区被災地公民館の復興に向けた研修会	東北地区公民館連絡協議会
H25.7.24	まちづくり、ひとづくりを果たす 公民館の役割	茨城県教育庁
H25.11.15	新しい公民館の活動と運営の視点	関東甲信越静公民館連絡協議会
H25.11.22	東日本大震災から学ぶ 公民館の役割	神奈川県公民館連絡協議会
H25.11.25	効果的な広報や学習成果の発信	埼玉県朝霞市

②国・地方公共団体・社会教育団体・機関等との連携協力

また、社会教育団体振興協議会を通じて「社会教育関係者懇親の集い」における情報交換及び情報発信、「文部科学省と語る会」における社会教育の推進に関するディスカッションをおこなうとともに、全国の公民館の活動推進に資するために、耐震化の促進等について、積極的な働きかけを行った。

【地域活動支援事業の実施】

都道府県公連で実施している研修などに対して支援をするとともに、その活動状況を発信することによって公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。

今年度は「リアル熟議」の普及を中心に行い、地域住民が当事者意識をもって地域コミュニティに参画できるように推進する。また、地域力の向上に寄与するコンテンツの発信を行った。

- (1) 各都道府県公連 110 事業に対して 7,733,986 円を助成。
- (2) 熟議 in 公民館プロジェクト(公民館で行ったリアル熟議)に 90 件について 900,000 円を助成。

【公民館広報推進事業の実施】

公民館の広報活動の事例を収集・評価を行い、優良なコンテンツを表彰することによって、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図る事業として、今年度は地域住民がアクセスできる電子媒体である「ホームページの広報」について行った。

今年度は以下のとおりのコンクールを実施した。

(「第 5 回全国公民館ホームページコンクール」の結果一覧)

種類	名称	受賞館
最優秀賞	1 館	・相模原市立麻溝公民館(神奈川県)
優秀賞	2 館	・瑞浪市稲津公民館(岐阜県) ・那覇市若狭公民館(沖縄県)
優良賞	3 館	・相模原市立上溝公民館(神奈川県) ・富士見町公民館(長野県) ・多治見市市之倉公民館(岐阜県)
奨励賞	7 館	・相模原市立横山公民館(神奈川県) ・相模原市立大沢公民館(神奈川県) ・相模原市立光が丘公民館(神奈川県) ・豊田市若林交流館(愛知県) ・飯南町頓原公民館(島根県) ・松江市雑賀公民館(島根県) ・周南市湯野公民館(山口県)

【「月刊公民館」の発行】

地域社会の取組や専門家の論考などを紹介した「月刊公民館」を発行している。今までに「災害に備える取組み」として地域社会での事例紹介や「キャリア教育の実践」「新しい公共」などをテーマとし、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図ってきた。なお、今年度末までに通巻 682 号まで発行した。今年度は以下の特集を組み発行した。

（月刊公民館特集テーマ一覧）

発行	特集テーマ	発行	特集テーマ
4月号	やさしい公民館入門	10月号	子どもが主役！防災体験講座
5月号	公民館の豆知識	11月号	魅力ある講座づくり
6月号	失敗から学ぶ公民館活動	12月号	講座から、まちづくりへ
7月号	学校との連携	1月号	ESD（持続可能な開発のための教育）と公民館
8月号	人がつながる地域づくり	2月号	サークル活動と公民館
9月号	災害に備える	3月号	ホームページコンクール

【専門資料の発行】

公民館活動を行う上で必要になる専門資料を発行し、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。

今年度は関係法令や第2期教育振興基本計画等を掲載した「公民館必携」を発行した。

【優良公民館職員等表彰事業】

他の模範となるような優良な実績を有する公民館職員を表彰すること及び「優良公民館表彰」で文部科学大臣表彰を受賞した公民館に、記念の楯を贈呈すること、「月刊公民館」でその活動を紹介することで公民館関係者の意欲を触発し、力量の向上を促すことによって、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。

今年度は以下のとおりの表彰を実施した。

《優良公民館表彰及び優良公民館表彰実績》

優良公民館職員表彰	22名を表彰した。
優良公民館表彰	61館（うち1館が最優秀館、4館が優秀館）の受賞館に記念の楯を贈呈し、月刊公民館で活動を紹介した。

Ⅱ 公民館総合補償制度に関する事業

【見舞金制度事業の運営】

見舞金制度は本会の共益事業として公民館総合補償制度の中で運営し、健全な制度運営と適切な給付に努め、剰余金の一部を公益目的事業の財源に充てた。

〔見舞金給付実績は、参考資料②(公民館補償制度の加入状況・支払実績表)参照〕

【災害補償保険等に係る集金事務に関する事業】

公民館総合補償制度の運営にあたり、保険会社との間で集金事務委託契約を締結し、制度掛金のうち保険料(団体災害補償保険等の保険料)相当部分の集金業務を、請負事業として実施した。当該事業で得られた利益は、公益目的事業の財源に充てた。

Ⅲ その他の事業

【永年勤続職員表彰、功労者表彰及び公連勤続職員表彰の実施】

公民館において長年勤務し、一定の成果をあげた職員を表彰し、立場を同じくする公民館職員への励みとし、同時によき模範となることにより、公民館職員の意欲を触発し、力量の向上を促すことで、公民館機能が向上することをねらって永年勤続職員表彰を行った。

また、都道府県公連における活動の活性化は、本会の目的の達成はもちろん、本会の根幹に関わるため極めて重要視している。都道府県公連に対して功労があった役職員を表彰することにより、その労をねぎらい、連帯意識の向上に資するために功労者表彰及び公連勤続職員表彰を行った。

今年度は以下のとおりの表彰等を実施した。

《永年勤続職員表彰、功労者表彰及び公連勤続職員表彰実績》

種類	人数
永年勤続職員表彰	132名
功労者表彰	9名
公連勤続職員表彰	該当者なし